

## 「確実な培土と排水対策」、「病虫害防除」を徹底して大豆の生育量を確保し、高品質な大豆づくりをしましょう！

### 排水対策

◇土の上がりをするため、培土作業は可能な限りほ場が乾いている時に行い、特に2回目の培土では株元にしっかりと土をかけましょう。

◇培土作業でできた溝と額縁排水溝は必ず連結し、ほ場の停滞水を速やかに排水しましょう。

### 雑草防除

培土後に残草がみられた場合は ①雑草の種類及び生育状況、②大豆の生育状況 から判断し、適期に除草剤を散布しましょう(表1)。

表1 大豆生育期処理除草剤

対象雑草	薬剤名	10a当たり使用量	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数
1年生 イネ科	ポルトフロアブル	200~300ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで	1回
1年生 広葉	大豆バサグラン液剤	100~150ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	大豆2葉期~開花前まで (雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	1回
1年生 雑草	バスタ液剤*	300~500ml	100~ 150ℓ	畦間・株間 処理	本葉5葉期以降 ただし収穫28日前まで	3回以内

※バスタの散布には吊り下げノズルを用い、薬剤が大豆にかからないよう注意して散布してください。

○難防除雑草(帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類)の早期発見に努め、速やかに防除(手取り除去、除草剤散布)する。



マルバルコウ



マメアサガオ



アメリカ  
アサガオ



イヌホオズキ類



ヒユ類

図1 難防除雑草の幼植物

### 病虫害防除

~適期の病虫害防除により、高品質な大豆に仕上げましょう!~

防除体系	防除時期の目安		対象病虫害	薬剤名 (粉剤体系)	10a当たり 散布量
随時	7月下旬~8月上旬 (葉が巻き始めたら)		ウコンノメイガ	サイアノックス粉剤 (収穫7日前まで) プレバソフロアブル5 (収穫7日前まで)	4kg 薬剤 25ml 100ℓ
基本 (1回目)	莢が伸び きった頃	8月10日頃	紫斑病 カメムシ類	スミチオンペルクート粉剤 DL (収穫21日前まで)	3kg
基本 (2回目)	1回目の 10日後	8月20日頃	紫斑病 カメムシ類	マネージトレボン粉剤 DL (収穫30日前まで)	4kg

農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう

### 干ばつ時の畦間かん水

開花期から9月上旬頃までの水不足は、莢数や百粒重の確保に大きく影響するため、3日以上晴天日が続いたら、短時間で畦間かん水を行いましょう。

かん水は、ほ場全体に水が行き渡ったら水口をしっかり止め、速やかに排水してください。